

平成15年度 第1回 発注企業動向調査 結果報告書

平成15年5月
財団法人京都産業21

調査結果の概要

売上げについて

○売上状況について

前回調査と比較して、「増加」が 44.9%と 7.6 ポイント増加し、「減少」が 18.8%で 11.9 ポイント減少しており、売上額増加傾向があり、回復の兆しが見られる。

○今後の売上の見通しについて

上期においては「減少」が 30.4%で「増加」(15.9%)を上回っているが、下期においては、「増加」が 23.2%と 7.3 ポイント増加する一方で、「減少」が 23.2%で 7.2 ポイント減少しており、先行き回復の傾向が見られる。

外注について

○外注利用状況について

前回調査と比較して、「増加」が 36.2%で 8.2 ポイントと増加し、「減少」が 18.8%で 21.2 ポイント減少しており、売上額増加傾向が見られる中、回復の兆しが見られる。

○今後の外注見通しについて

上期においては「減少」と見通すものが 29.0%で「増加」(13.0%)を大きく上回っているが、下期においては、「増加」が 17.4%で 4.4 ポイントとわずかながら増加し、「減少」が 20.3%で 8.7 ポイント減少しており、先行き増加傾向がうかがえる。

○年間の総外注費及び京都府内の割合について

2 割余りが京都府内の企業に外注されており、業種別では、精密機器が 3 割以上を京都府内に外注している。

○外注企業に望む能力について（品質）

「要求どおりの加工精度」との回答が 26.2%と最も多く、次いで「バラツキの無い品質安定度」が 16.5%、「検査体制の強化」が 17.0%、「工程管理の強化」が 15.0%、「VE/VA 提案を含めた体制強化」が 13.6%となっており、前回調査と比べて大きな変化は見られない。

発注企業は、外注企業に対して精度の確保と品質の安定のための検査体制、工程管理の強化を求めているようである。

○外注企業に望む能力について（コスト）

「市場価格への対応」との回答が 23.3%と最も多く、次いで「発注内容に応じたコスト対応」が 20.2%、「V E / V A 提案によるコスト提案」が 17.8%となっている。

市場価格が一段と低下する中で、発注企業のコスト意識が厳しくなっており、外注企業には厳しいコスト対応が要求されるとともに、コスト低減のための提案も期待されているようである。

○外注企業に望む能力について（納期）

「状況に応じた柔軟な納期対応」が 46.1%と最も高く、次いで「ジャストインタイムへの対応」が 30.4%で、「納期管理、在庫管理能力」が 20.0%となっている。

外注企業に対して、コストアップすることなく、小回りを効かせた、フレキシブルな納期対応が求められているようである。

○新規外注先企業の情報収集について

「下請企業からの営業活動」との回答が 30.6%と最も多く、次いで「情報誌、企業名簿等からの情報収集」が 17.9%となっている。

現状では、外注企業自身の積極的な営業活動の重要性を示す結果となっており、受注企業の積極的な情報発信（企業名簿等への掲載、各種展示会への出展を含む）が重要であることがうかがえる。

○新規外注先企業の開拓について

新規外注先を「探していない」とする企業(66.7%)が「探している」(11.6%)と「将来的に探している」(21.7%)を合わせた割合(33.3%)を 33.4 ポイントと大幅に上回っている。

1. 調査概要について

(1) 調査目的 財団に登録する発注企業の動向を把握し、情報として提供することで、府内の下請企業の経営計画策定の一助とするとともに、より効果的な受注活動等の促進を図り、併せて財団における取引あっせん業務の円滑化を図る。

(2) 調査対象企業 財団に登録する機械金属関連発注企業 138 社

(3) 調査時期 平成15年3月末現在 * 調査回収締切: 5月23日

(4) 調査回収企業数 69 社 (回収率: 50.0 %)

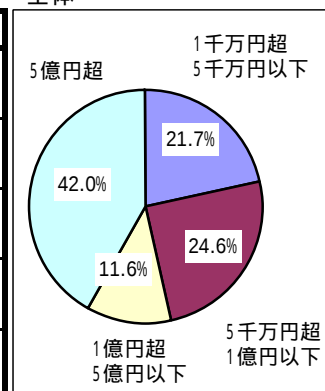
内訳 金属製品 13社(18.8%) 一般機器 22社(31.9%) 電気機器 12社(17.4%)
輸送用機器 7社(10.1%) 精密機器 15社(21.7%)

【業種別資本金別回収企業数】

上段: 企業数、下段: 比率割合

	全体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
1千万円超	15	4	5	1	0	5
5千万円以下	21.7%	30.8%	22.7%	8.3%	0.0%	33.3%
5千万円超	17	1	6	5	1	4
1億円以下	24.6%	7.7%	27.3%	41.7%	14.3%	26.7%
1億円超	8	1	4	2	0	1
5億円以下	11.6%	7.7%	18.2%	16.7%	0.0%	6.7%
5億円超	29	7	7	4	6	5
	42.0%	53.8%	31.8%	33.3%	85.7%	33.3%
合計	69	13	22	12	7	15
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【業種別資本金別回収企業数 全体

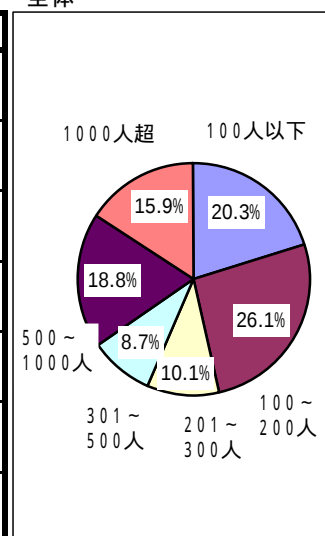


【業種別従業員別回収企業数】

上段: 企業数、下段: 比率割合

	全体	金属製品	一般機械	電気機器	輸送用機器	精密機器
100人以下	14	6	6	0	0	2
	20.3%	46.2%	27.3%	0.0%	0.0%	13.3%
101~200人	18	3	7	3	1	4
	26.1%	23.1%	31.8%	25.0%	14.3%	26.7%
201~300人	7	0	3	2	1	1
	10.1%	0.0%	13.6%	16.7%	14.3%	6.7%
301~500人	6	1	2	1	0	2
	8.7%	7.7%	9.1%	8.3%	0.0%	13.3%
501~1000人	13	2	3	2	2	4
	18.8%	15.4%	13.6%	16.7%	28.6%	26.7%
1000人超	11	1	1	4	3	2
	15.9%	7.7%	4.5%	33.3%	42.9%	13.3%
合計	69	13	22	12	7	15
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

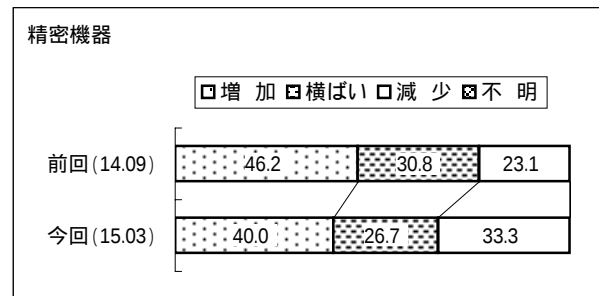
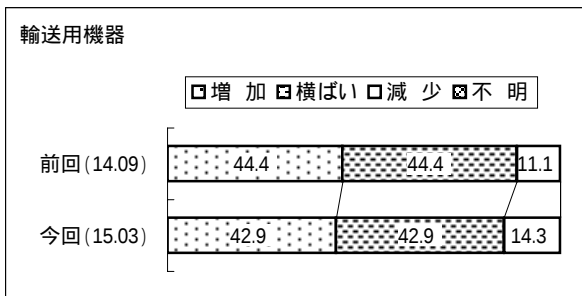
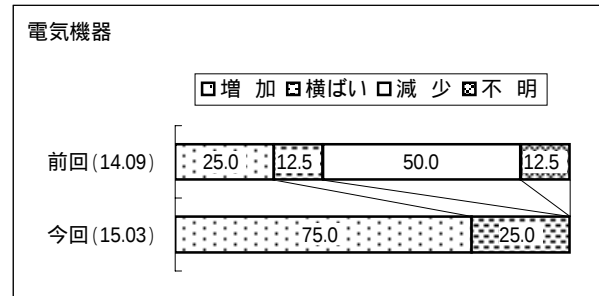
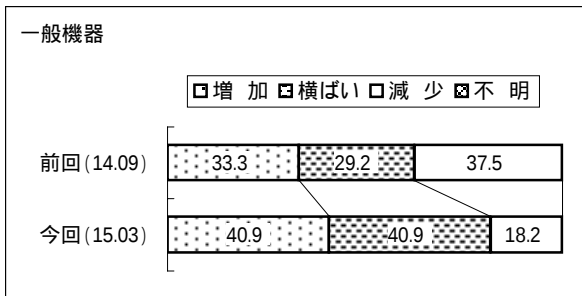
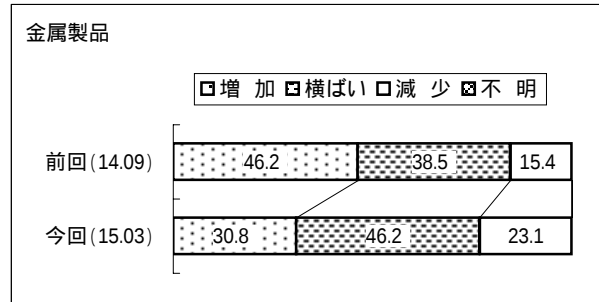
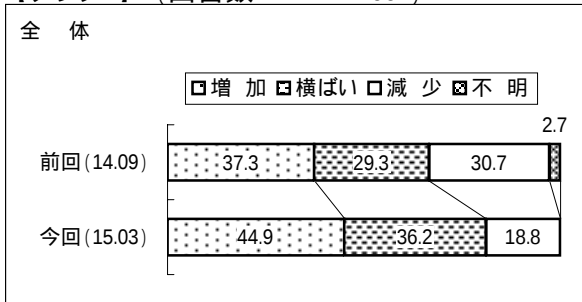
【業種別従業員別回収企業数 全体



2. 売上について

(1) 平成14年度「下期」(14.10～15.03)と平成14年度「上期」(14.04～14.09)の売上額の比較

【グラフ1】(回答数 69)



* 業種別回答数

今回(15.03)	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	31	4	9	9	3	6
横ばい	25	6	9	3	3	4
減 少	13	3	4	0	1	5
不 明	0	0	0	0	0	0
合 計	69	13	22	12	7	15

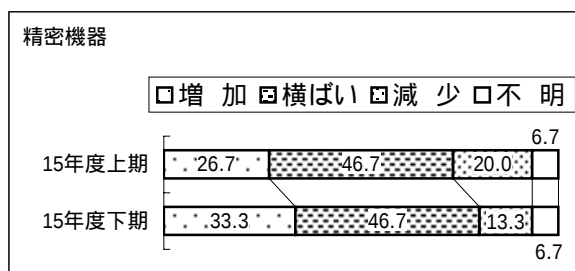
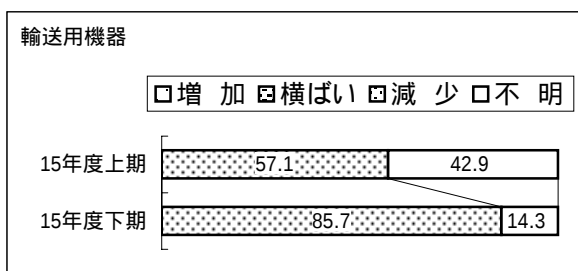
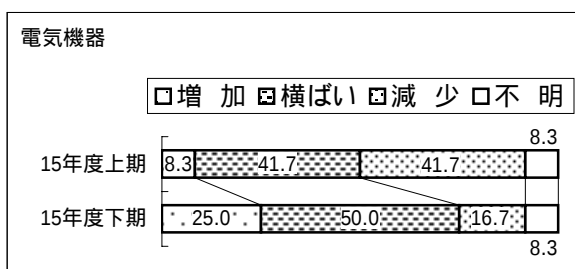
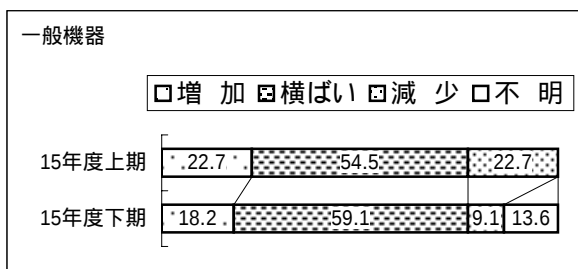
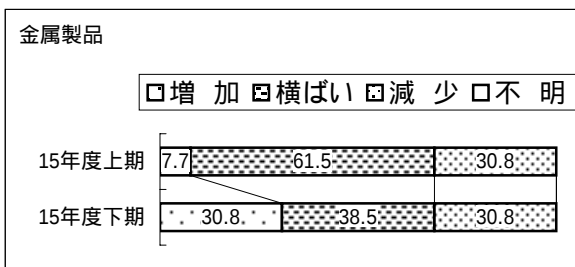
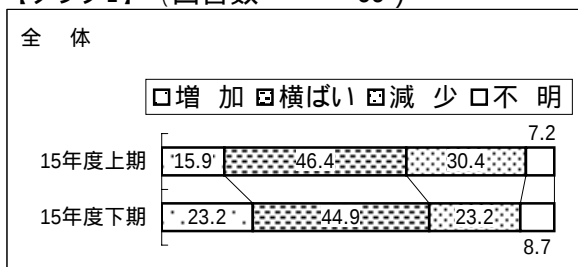
【売上状況の比較について】

全体では、前回調査と比較して、「増加」が44.9%と7.6ポイント増加し、「減少」が18.8%で11.9ポイント減少しており、売上額増加傾向があり、回復の兆しが見られる。

業種別では一般機器、電気機器で増加傾向が見られるが、輸送用機器、金属製品、精密機器で「増加」が減少しており、業種によるばらつきが見られる。

(2) 15年度の「上期」(15.04～15.09)及び15年度「下期」(15.10～16.03)の売上の見通し

【グラフ2】 (回答数 69)



* 業種別回答数

15年度上期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	11	1	5	1	0	4
横ばい	32	8	12	5	0	7
減 少	21	4	5	5	4	3
不 明	5	0	0	1	3	1
合計	69	13	22	12	7	15

* 業種別回答数

15年度下期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	16	4	4	3	0	5
横ばい	31	5	13	6	0	7
減 少	16	4	2	2	6	2
不 明	6	0	3	1	1	1
合計	69	13	22	12	7	15

【売上の見通しについて】

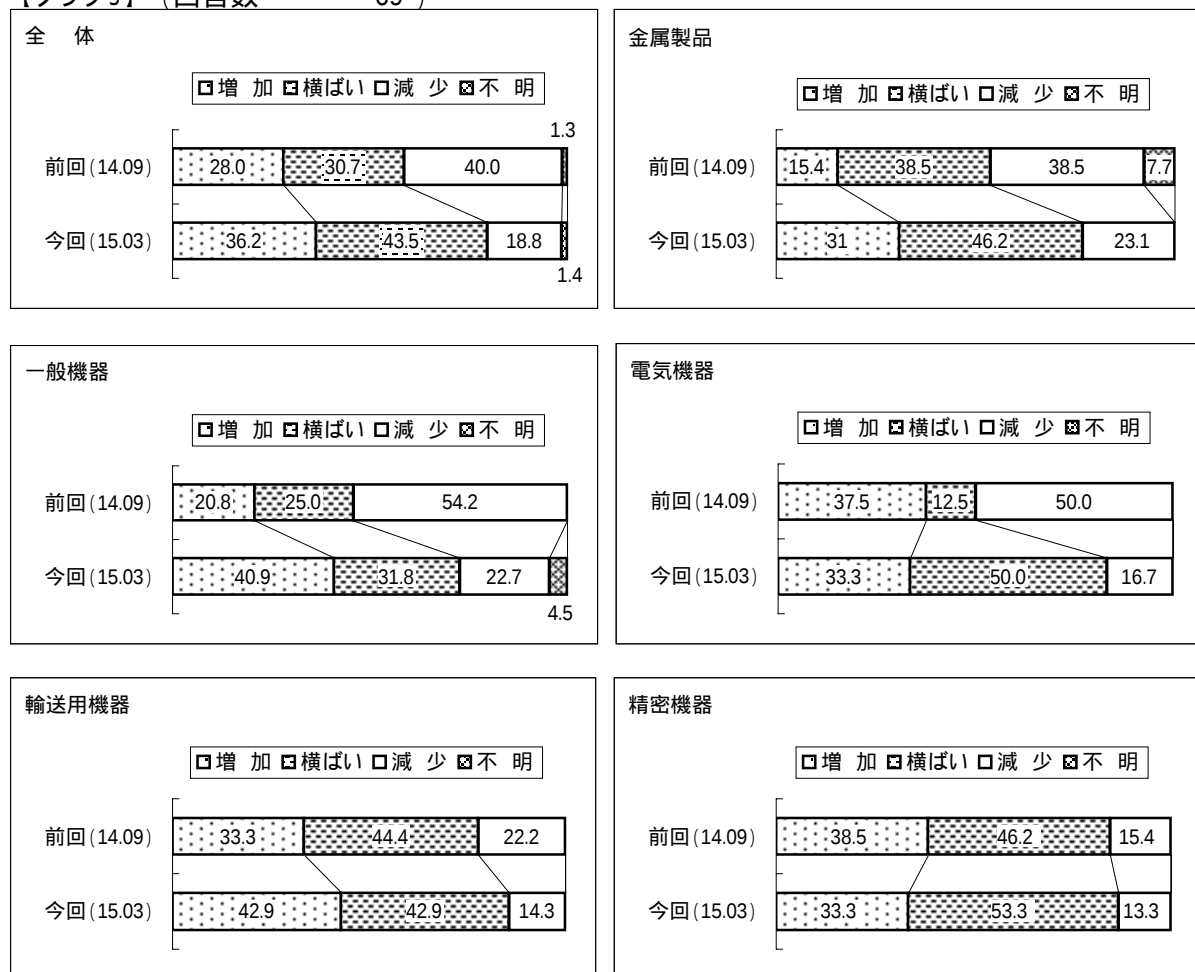
全体では、上期においては「減少」が30.4%で「増加」(15.9%)を上回っているが、下期においては、「増加」が23.2%と7.3ポイント増加する一方で、「減少」が23.2%で7.2ポイント減少しており、先行き回復の傾向が見られる。

業種別では、ばらつきが見られるものの、各業種とも先行き増加の傾向を見通す結果となっている。

3. 外注について

(1) 平成14年度「下期」(14.10～15.03)と平成14年度「上期」(14.04～14.09)の外注額の比較

【グラフ3】(回答数 69)



* 業種別回答数

今回 (15.03)	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	25	4	9	4	3	5
横ばい	30	6	7	6	3	8
減 少	13	3	5	2	1	2
不 明	1	0	1	0	0	0
合 計	69	13	22	12	7	15

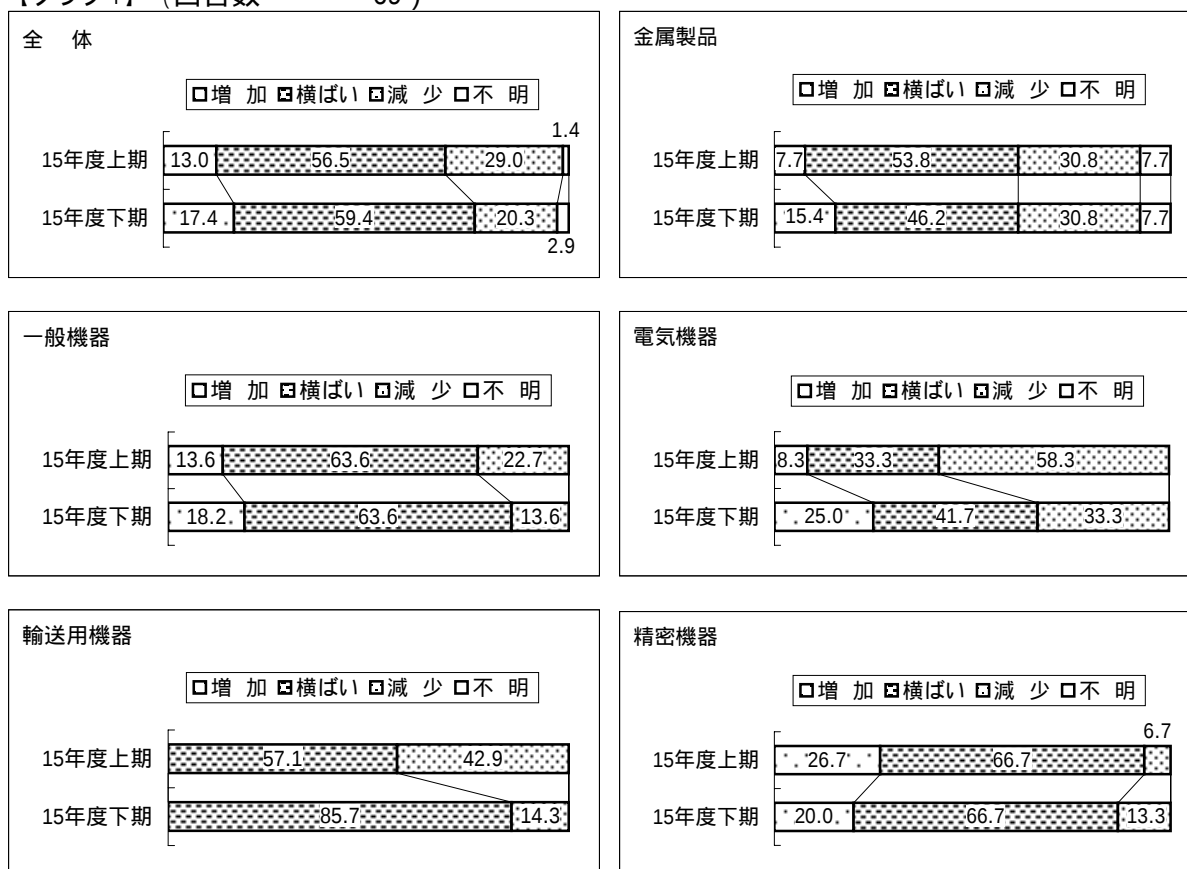
【外注額の比較について】

全体では、前回調査と比較して、「増加」が36.2%で8.2ポイントと増加し、「減少」が18.8%で21.2ポイント減少しており、売上額増加傾向が見られる中、回復の兆しが見られる。

業種別では、一般機器、金属製品で「増加」が2割近く増えているものの、電気機器、精密機器では「増加」が減っており、ばらつきが見られる。

(2)15年度の「上期」(15.04～15.09)及び15年度「下期」(15.10～16.03)の外注の見通し

【グラフ4】 (回答数 69)



*業種別回答数

15年度上期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	9	1	3	1	0	4
横ばい	39	7	14	4	4	10
減 少	20	4	5	7	3	1
不 明	1	1	0	0	0	0
合 計	69	13	22	12	7	15

*業種別回答数

15年度下期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	12	2	4	3	0	3
横ばい	41	6	14	5	6	10
減 少	14	4	3	4	1	2
不 明	2	1	1	0	0	0
合 計	69	13	22	12	7	15

【外注の見通しについて】

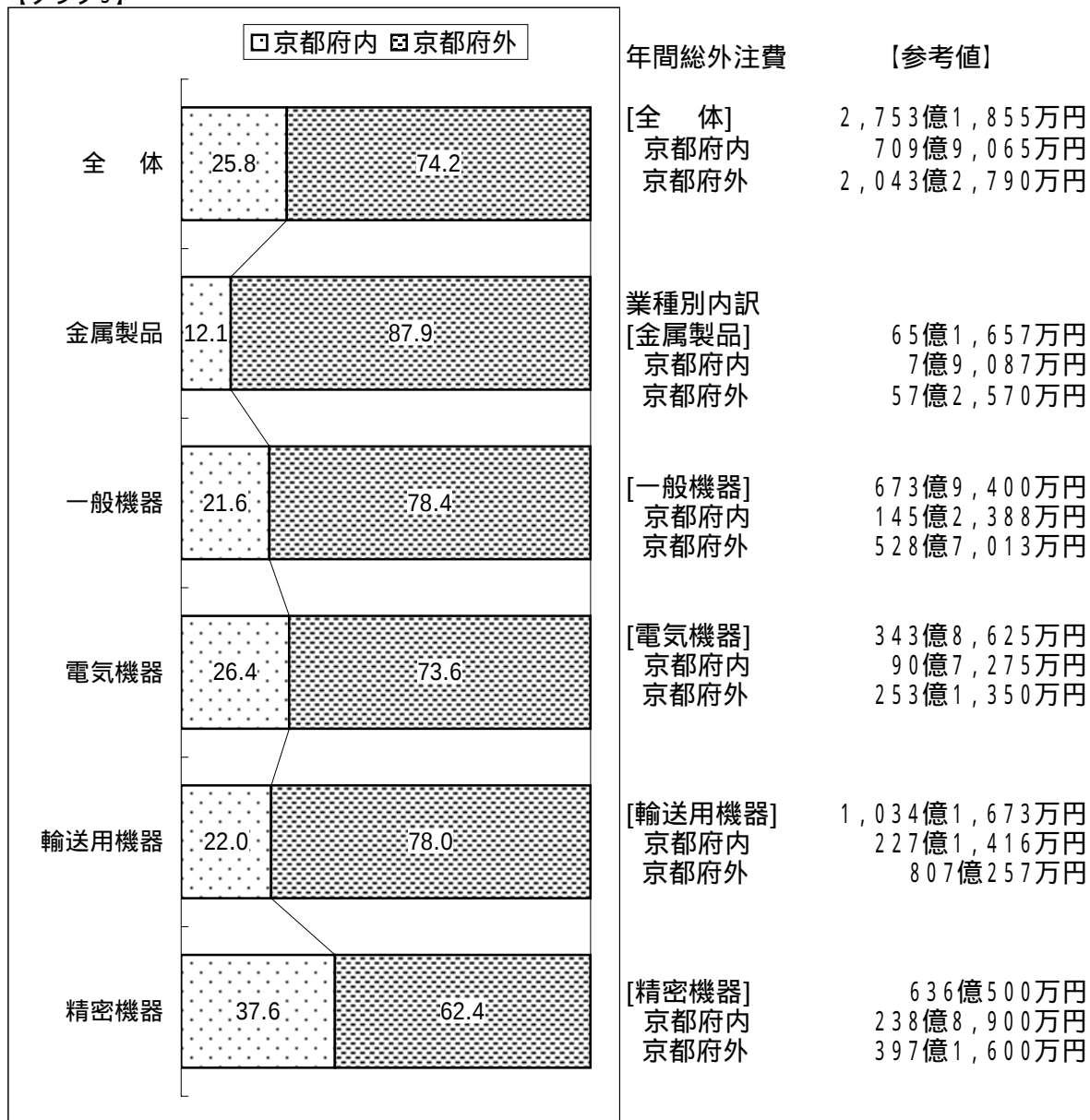
全体では、上期においては「減少」と見通すものが29.0%で「増加」(13.0%)を大きく上回っているが、下期においては、「増加」が17.4%で4.4ポイントとわずかながら増加し、「減少」が20.3%で8.7ポイント減少しており、先行き増加傾向がうかがえる。

業種別では、一般機器、金属製品、電気機器で「増加」の見通しが見られる。

(3) 14年度の総外注費及び京都府内の企業の割合について

* 本調査については未回答企業もあるため、調査結果は参考値とする。

【グラフ5】



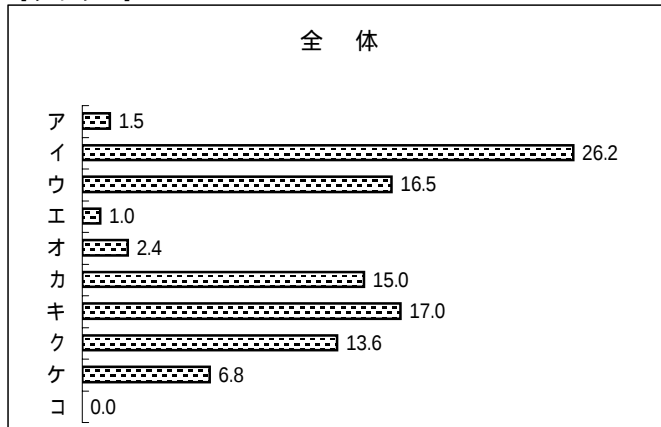
【年間の総外注費及び京都府内の割合について】

全体では、2割余りが京都府内の企業に外注されており、業種別では、精密機器が3割以上を京都府内に外注している。

なお、本調査については未回答企業もあるため、調査結果は参考値とする。

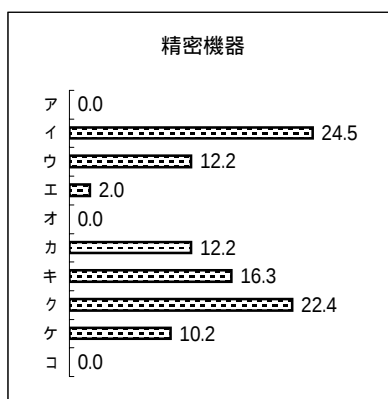
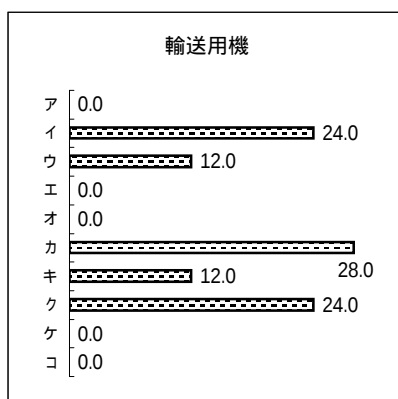
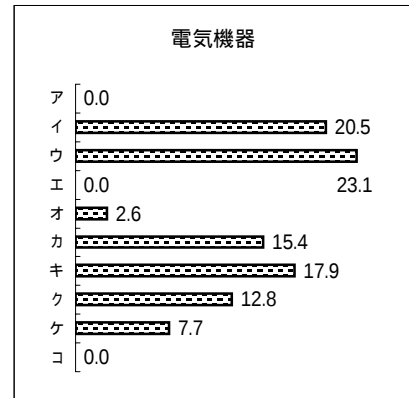
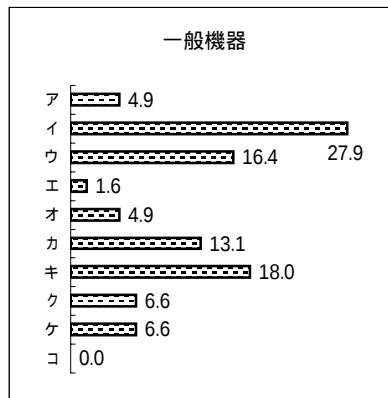
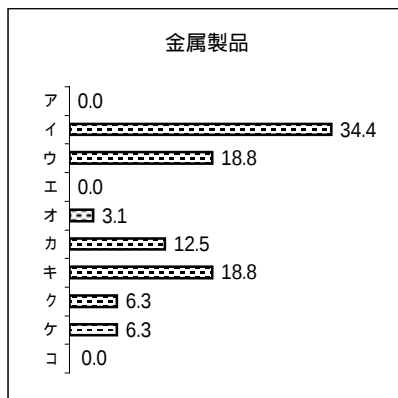
(4) 外注企業に望む能力について

品質について外注企業に望むこと 【グラフ6】



* 重複回答(回計数 206)

グラフの項目	回答数
ア. 要求以上の加工精度	3
イ. 要求どおりの加工精度	54
ウ. バラツキの無い品質安定度	34
エ. 新鋭設備の導入	2
オ. 職人(技術者)の育成	5
カ. 工程管理の強化	31
キ. 検査体制の強化	35
ク. VE/VA提案も含めた体制強化	28
ケ. ISOなどの要求	14
コ. その他	0



* 業種別回答数

機械製品	32
一般機器	61
電気機器	39
輸送用機器	25
精密機器	49
計	206

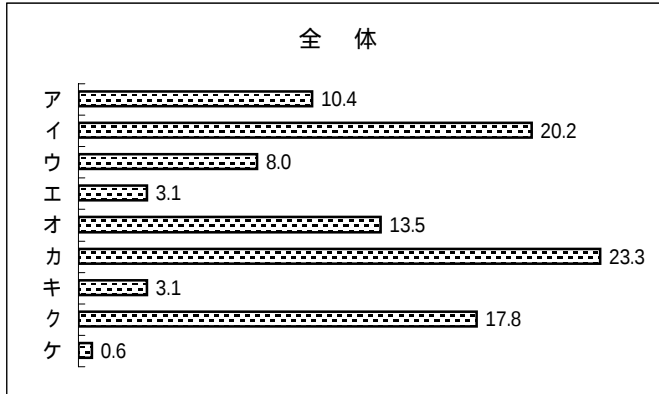
【品質について】

「要求どおりの加工精度」との回答が26.2%と最も多く、次いで「バラツキの無い品質安定度」が16.5%、「検査体制の強化」が17.0%、「工程管理の強化」が15.0%、「VE/VA提案も含めた体制強化」が13.6%となっており、前回調査と比べて大きな変化は見られない。

発注企業は、外注企業に対して精度の確保と品質の安定のための検査体制、工程管理の強化を求めているようである。

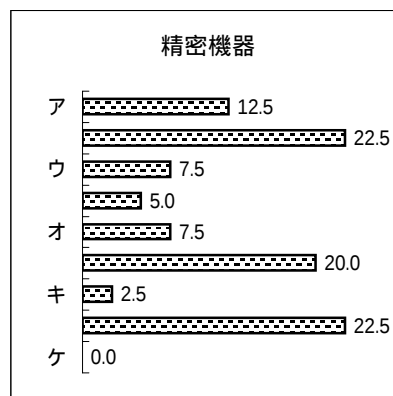
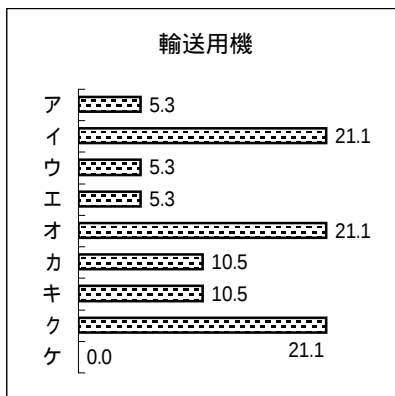
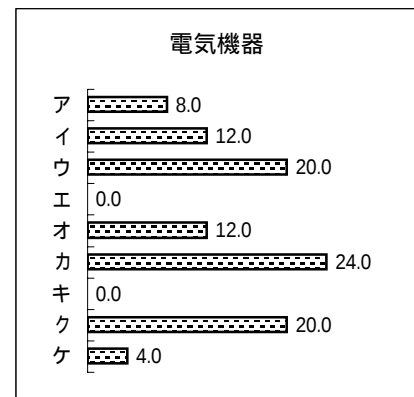
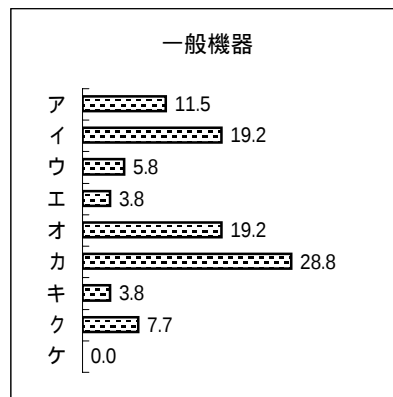
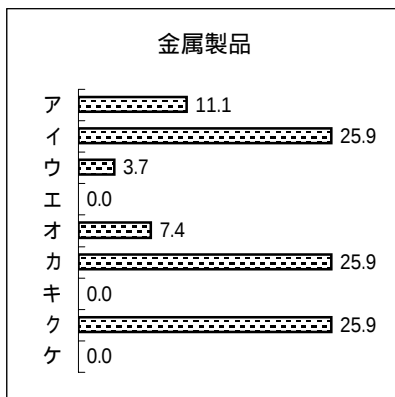
(5) 外注企業に望む能力について

コストについて外注企業に望むこと
【グラフ7】



* 重複回答 (回答数 163)

グラフの項目	回答数
ア. 要求以上の低コスト対応	17
イ. 発注内容に応じたコスト対応	33
ウ. 適正な見積書作成能力	13
エ. 新鋭設備の導入によるコストダウン	5
オ. 工程管理の強化によるコストダウン	22
カ. 市場価格への対応	38
キ. 海外調達、進出等による低コスト対応	5
ク. VE/V A提案によるコスト提案	29
ケ. その他	1



* 業種別回答数

機械製品	27
一般機器	52
電気機器	25
輸送用機器	19
精密機器	40
計	163

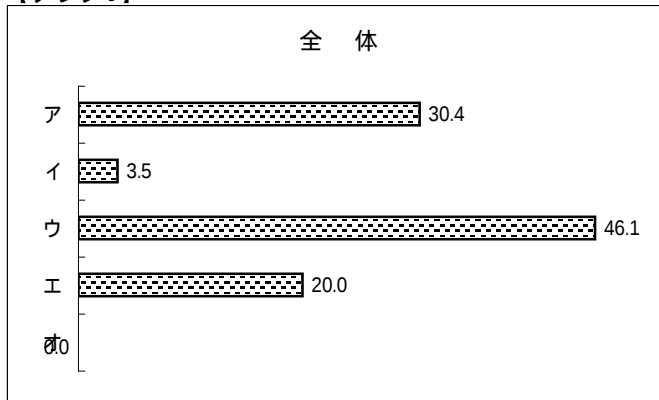
【コストについて】

「市場価格への対応」との回答が23.3%と最も多く、次いで「発注内容に応じたコスト対応」が20.2%、「VE/V A提案によるコスト提案」が17.8%となっている。

市場価格が一段と低下する中で、発注企業のコスト意識が厳しくなっており、外注企業には厳しいコスト対応が要求されるとともに、コスト低減のための提案も期待されているようである。

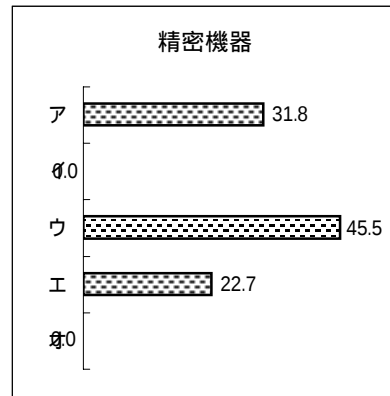
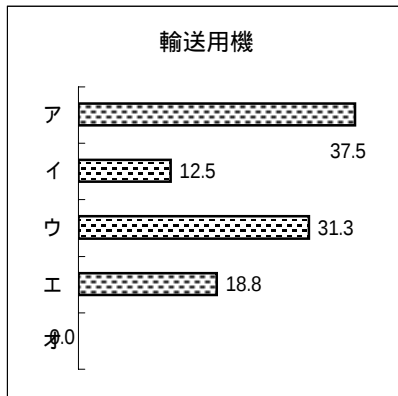
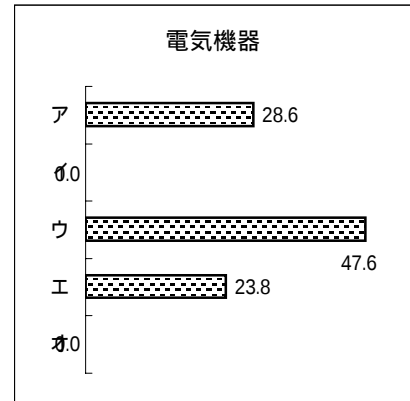
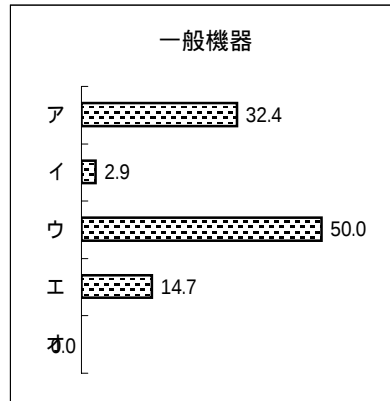
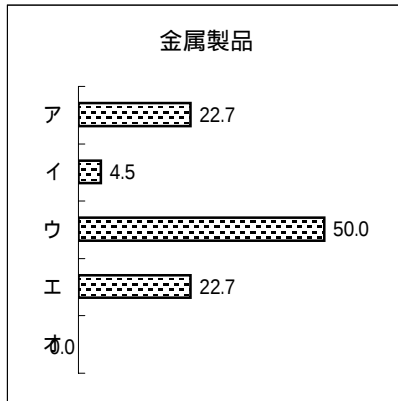
(5) 外注企業に望む能力について

納期について外注企業に望むこと
【グラフ8】



* 重複回答 (回答数 115)

グラフの項目	回答数
ア. ジャストイン・タイムへの対応	35
イ. 在庫保有等による対応	4
ウ. 状況に応じた柔軟な納期対応	53
エ. 納期管理、在庫管理能力の強化	23
オ. その他	0



* 業種別回答数

機械製品	22
一般機器	34
電気機器	21
輸送用機器	16
精密機器	22
計	115

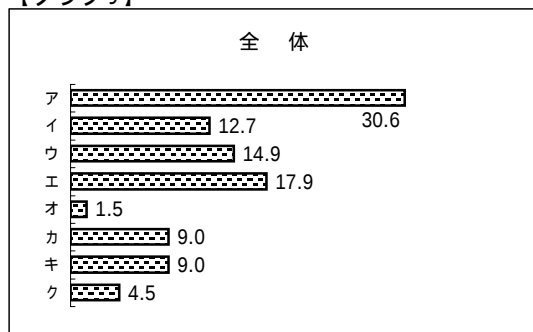
【納期について】

「状況に応じた柔軟な納期対応」が46.1%と最も高く、次いで「ジャストインタイムへの対応」が30.4%で、「納期管理、在庫管理能力」が20.0%となっている。

外注企業に対して、コストアップすることなく、小回りを効かせた、フレキシブルな納期対応が求められているようである。

(6)新規外注先企業を探す場合の情報収集の方法について

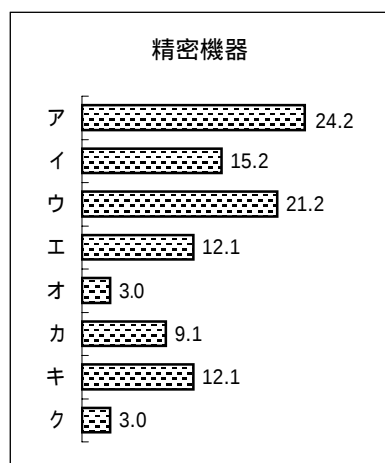
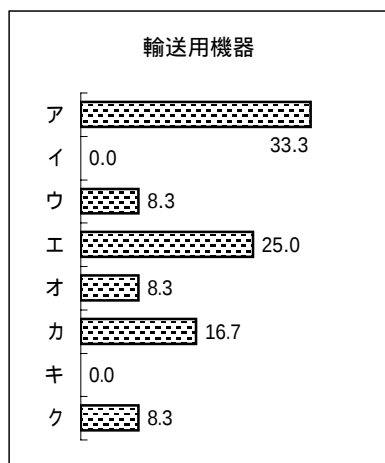
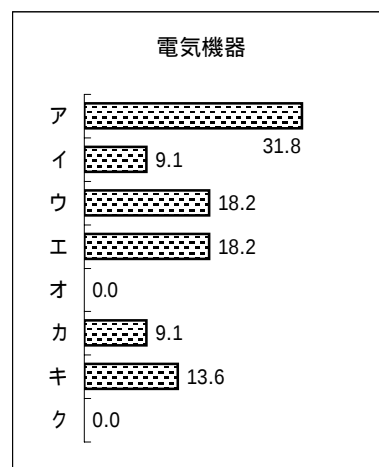
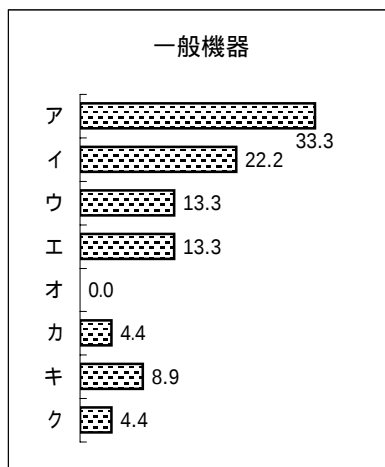
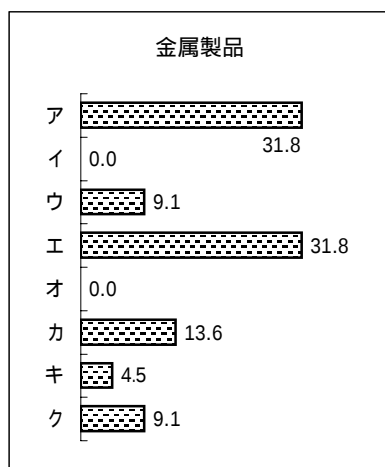
【グラフ9】



* 重複回答(回答数 134)

グラフの項目

グラフの項目	回答数
ア. 下請企業からの営業活動	41
イ. 財団(協会)からのあっせん	17
ウ. テクノフェア等の各種展示会見学	20
エ. 情報誌、企業名簿等からの情報収集	24
オ. 説明会を開催し、資材調達情報を公開	2
カ. インターネットホームページで資材調達先を公募	12
キ. 公社(協会)開催による商談会への参加	12
ク. その他	6



* 業種別回答数

機械製品	22
一般機器	45
電気機器	22
輸送用機器	12
精密機器	33
計	134

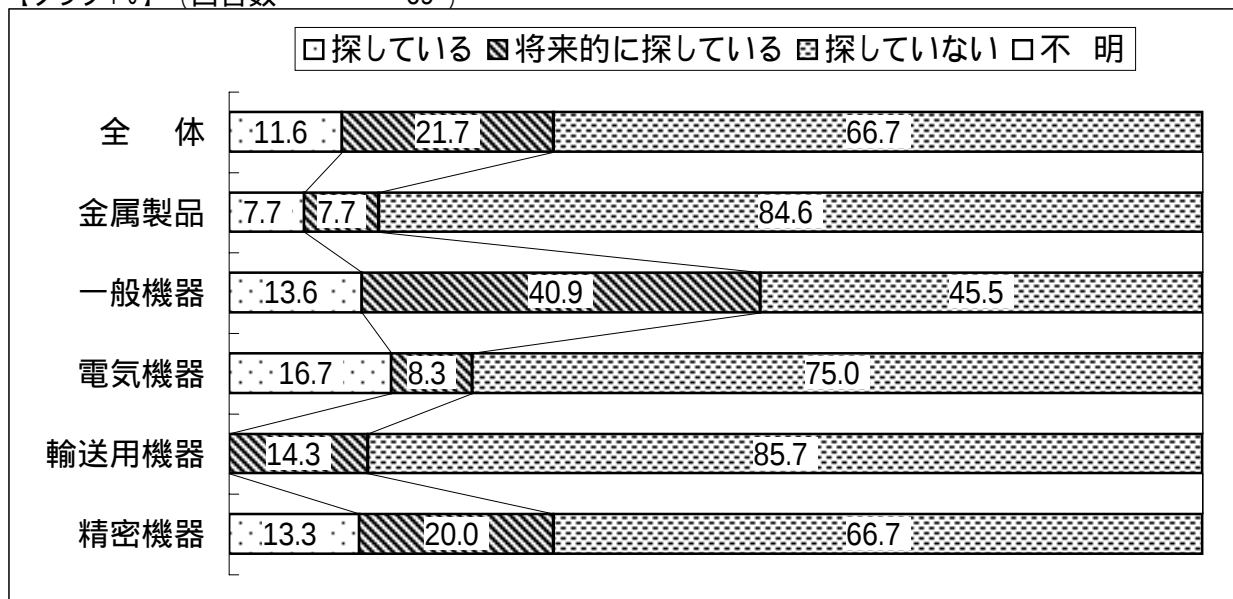
【新規外注先企業の情報収集について】

「下請企業からの営業活動」との回答が30.6%と最も多く、次いで「情報誌、企業名簿等からの情報収集」が17.9%となっている。

現状では、外注企業自身の積極的な営業活動の重要性を示す結果となっており、受注企業の積極的な情報発信(企業名簿等への掲載、各種展示会への出展を含む)が重要であることがうかがえる。

【(7)新規外注先企業の開拓について】

【グラフ10】（回答数 69）



* 業種別回答数

	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
探している	8	1	3	2	0	2
将来的に探している	15	1	9	1	1	3
探していない	46	11	10	9	6	10
不 明	0	0	0	0	0	0
合計	69	13	22	12	7	15

【新規外注先企業の開拓について】

全体として、新規外注先を「探していない」とする企業(66.7%)が「探している」(11.6%)と「将来的に探している」(21.7%)を合わせた割合(33.3%)を33.4ポイントと大幅に上回っている。

業種別では、「将来的に探している」ものを含めて、一般機器では5割以上、精密機器では3割以上の企業が新規外注先をさがしているものの、輸送用機器では、「探している」とする企業は見られない。

財団法人 京都産業21

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134 (京都府産業プラザ内)

TEL (075) 315 - 9234 / FAX (075) 314 - 4720 E-mail: office@ki21.jp

<http://www.ki21.jp>